

■はじめに

本ドキュメントでは、AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダにおいて I/O ポートを利用したイベントの設定手順を説明します。

■設定手順

手順 1 : AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定ページにアクセスする

1. Web ブラウザを起動します。

※FW v6.50 以下の場合には Internet Explorer を、FW v7.10 以降の場合には Chrome をご利用ください。

2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。

3. root ユーザーにてログインします。

手順 2 : イベントを設定する

1. 「設定」 - 「システム」 - 「イベント」 ページを開き、「Action Rules」 タブで「Add」をクリックします。

※FW v6.50 以下の場合、「Setup」 - 「Events」 - 「Action Rules」。

2. 「Action Rule Setup」 ウィンドウで、実行するイベントをルールとして設定します。

Enable rule

このルールを有効にするにはチェックを入れます。

Name

ルールの名前を任意で設定します。

Trigger

トリガー種類にて「Input Signal」、「Digital Input Port」を選択します。

(Input ポートを複数設定してある場合のみ) 入力ポートの指定で「Any」を選択すると、入力のあったどれかのポートがトリガーとなります。

Start condition only

実行中イベントのアクションが完了するまで再び発生するトリガーを無視する場合はチェックを入れます。

※アクションの継続時間 (Duration) 設定にて、任意の継続時間を選択した場合のみ設定が可能です。

Schedule

イベントを有効にさせたい時間帯（スケジュール）を選択します。

24時間365日連続してイベントを実行する場合：「Always (No Schedule)」を選択します。

スケジュールを利用する場合：「New Schedule」にてスケジュールを作成します。

Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合に「Add」をクリックして、トリガー条件を追加します。

Wait at least (任意の時間) before re-running the rule (max 23:59:59)

イベントを実行した後、再びトリガーを受け付けるまでに待ち時間を設ける場合に時間を設定します。

Type

実行するイベントの種類です。

※本稿では、アクションタイプの一例として、トリガーを受けた際のI/Oポートの「Output Port」を動作させる設定をします。

Port

使用する出力ポートを指定します。

Set state

トリガーを受け、出力ポートを「Active」にするか「Inactive」にするか選択します。

Duration

チェックボックスにチェックをすると、イベントの継続時間を設定できます。

- ・ Go to opposite state when the rule is no longer active
→トリガーが非アクティブになるまでイベントが継続します。
- ・ Go to opposite state after (任意の継続時間)
→トリガー入力から設定した時間までイベントが継続します。(単位：秒 / 分)

Action Rule Setup

General

Enable rule イベントを有効にする際にチェック

Name: イベントの名称

Condition

Trigger: トリガー Start condition only
 入力の種別
 ポートの選択
Active: Yes No ポートの状態を選択

Schedule: スケジュールの設定

Additional conditions

Wait at least before re-running the rule (max 23:59:59)

Actions

Type: 実行イベントの種別
Port: ポートの選択
Set state: Active Inactive ポートの状態を選択

Duration イベントの継続時間を設定
 Go to opposite state when the rule is no longer active
 Go to opposite state after

全ての設定が完了したら「OK」を押下し、保存します。

登録したイベントは一覧に表示されます。イベントの有効/無効はチェックボックスで行えます。

The screenshot shows a web interface for configuring events. At the top, there are tabs for 'Action rules', 'Recipients', 'Schedules', 'Recurrences', and 'Manual triggers'. Below these is a section titled 'Action Rules' containing an 'Action Rule List' table. The table has five columns: Name, Trigger, Schedule, Action, and Recipient. One rule is listed with a checked checkbox, named 'I/Oポート', with a trigger of 'Input Signal - Digital Input Port', a schedule of '-', an action of 'Output Port', and a recipient of '-'. Below the table are buttons for 'Add...', 'Copy...', 'Modify...', and 'Remove'.

Name	Trigger	Schedule	Action	Recipient
<input checked="" type="checkbox"/> I/Oポート	Input Signal - Digital Input Port	-	Output Port	-

また「設定」－「システム」－「I/Oポート」より、現在のポートの状態を確認および通常時のポートの状態を変更することが可能です。

※FW v6.50 以下の場合、「Setup」－「System Options」－「Ports & Device」－「I/O Ports」。

I/Oポート

The screenshot shows two configuration panels for I/O ports. The left panel is for 'ポート1' (Port 1) and the right for 'ポート2' (Port 2). Each panel has a '名前' (Name) field with a dropdown arrow and a refresh icon. Port 1 is named 'Input 1' and has a red-bordered box below it containing the text '現在の状態: 回路が開いています' (Current status: Circuit is open). Port 2 is named 'Output 2' and has a 'ライブビューコントロール' (Live View Control) toggle switch below it.

以上。